

第23回関東高等学校ラグビーフットボール新人大会 山梨県予選要項

主 催 山梨県ラグビーフットボール協会・山梨県高等学校体育連盟

主 管 山梨県高等学校体育連盟ラグビー専門部

期 日 令和5年1月14日（土）～令和5年2月4日（土）

日 程	1回戦	1月14日（土）	11:00～
	準決勝・順位決定戦	1月21日（土）	11:00～
	決勝・順位決定戦	1月28日（土）	11:00～
	3位決定戦	2月4日（土）	11:00～

会 場 御勅使南公園ラグビー場（Bグラウンド）他

- 競技規則
- (財)日本ラグビーフットボール協会制定の2021年度競技規則による。
 - 試合時間中に勝敗が決まらない場合は引分けとし、次回戦への出場チームは以下の方法で決定する。(P・Tはトライ数に数えるがゴール数には数えない)
 - ① トライ数の多いチーム。
 - ② トライ数も同数の場合にはP・T数の多いチーム。
 - ③ P・Tも同数の場合はゴール数の多いチーム。
 - ④ 上記で決定できない場合は、抽選で決める。
 - 試合開始時に15名の選手が揃わない場合、両チームの顧問、レフェリーおよび事務局の四者で協議して決定する。
 - 試合中に怪我などでプレー可能選手が12名以下になった場合、ゲームは不成立となり、そのチームは棄権となる。
 - トーナメントを止むを得ない事情で棄権した場合、そのチームの順位決定戦への出場権については専門部役員で検討する。
 - 試合中のシンビン時間について30分ハーフの時は7分、25分ハーフの時は6分とする。
 - その他不測の事態が生じた場合は、専門部役員で裁定する。

- 競技方法
- 敗者も順位決定トーナメントを行う。
 - 試合時間は、準決勝・3位決定戦・決勝戦は30分ハーフとし、その他の試合は25分ハーフ、ハーフタイムは5分以内とする。
 - 決勝戦が引き分けの場合、双方を優勝とする。ただし、関東高等学校新人大会への出場順位については前項(2)によって決定する。
 - ベンチ入りは、各試合25名以内とする。
 - 雷雲が確認される、あるいは、雷鳴が聞こえるなどの場合は、競技を即刻停止し、大会関係者全員が安全な場所へ避難する。その後、レフリー、両監督、事務局の4者で協議し、天候の状況、大会の位置付け、試合経過状況等を総合的に判断し試合成立・試合不成立での中止・再試合などのいずれかの決定をする。

- 参加資格
- 参加チームは学校教育法に定める高等学校に所属するチームで、山梨県高等学校体育連盟ならびに山梨県ラグビーフットボール協会に加盟していること。
 - 全日制課程・定時制課程および通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - 参加選手の資格は校長が認めた者で、次の事項に該当する者であること。
 - ア (財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録をしている者。
 - イ 年齢は2004年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ウ 各学年の区分けを設けない課程在籍の者の出場は2回までとする。
 - エ 2022年9月1日以降に編転入してきた者は、一家転住等、止むを得ないものであるという事情を明記した山梨県ラグビーフットボール協会長の許可が必要である。

(5) 留学生について

ア 卒業を目的として入学している生徒であること。

イ 出場できる人数は2名までとする。

(6) (財)日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に違反する者は参加できない。

(7) その他、参加資格に疑義がある場合は、専門部役員で裁定する。

(8) 参加資格の特例

上記(1)に定めるチームの生徒以外で、(2)～(6)の大会資格を満たし、かつ、山梨県高等学校体育連盟が推薦する生徒を別途定める規定に従い大会参加を認める。

「大会参加資格の別途に定める規定」

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること

(1) 大会参加を認める条件

ア 全国高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する専修学校および各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校による生徒との混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、都道府県高体連の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教師の指導の下に適切に行われており、活動時間などが高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項などに従うと共に、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率すると共に、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 罰 則 (1) 資格を偽った者、参加資格のない者が参加した場合は、そのチームを大会より除名する。
なお、この場合は、事態発見の時の相手チームを勝者とし、それ以前のものには触れない。
(2) その他、スポーツマンシップに反する行為があった場合は、前項に準ずる。
(3) 参加チームは所属学校その他関係のある者の行為についても責任を負うものとする。

表 彰 優勝および上位チームを表彰する。

- 健康管理 (1) 大会参加に当たっては、予め健康診断を受けさせるなど、選手の健康管理に十分留意する。
および (2) 試合中は、ヘッドギアを着用しなければならない。
安全対策 (3) 試合中は、マウスガードを装着しなければならない。
(4) スクラムに関しては安全に配慮し、以下のような規定を設ける。
① 一方のチームの監督が模擬スクラムを求めた場合、協議のうえ相手チームはこれに応じなければならない。
※戦術的にこれを行使したと本部で判断した場合協議を行うものとする。
② 決勝、三位決定戦については上記を適用しない。但し、試合中にレフェリーが危険と判断した場合は、模擬スクラムによって試合を行う。
(5) セーフティーアシスタント制度に伴い、各チームよりセーフティーアシスタントを出す。

- そ の 他 (1) 無観客試合とする。
(2) 各校の顧問は、選手の会場使用についての指導を徹底する。
(3) キックティー係1名・ウォータボーイ3名を各校で出す。ボールボーイについては、試合該当外の学校にお願いするものとし4～6名で行う。
(4) 会場の準備・試合終了後の片付けおよび清掃は当日参加の全チームで行う。
(5) 大会使用球は事務局で用意する。
(6) 1・2位チームに関東高等学校新人大会の出場権を与える。
(7) 上位チームは次年度関東大会県予選のシード権をそれぞれ獲得する

大会運営に関する連絡先 委員長 大 澤 正 樹 (甲府工業高校) 055-252-4896
事務局 山 下 峻 (日川高校) 0553-22-2321